

「奉仕の旅 for 米子復活教会」(2018.8.19)

8月13日(月)、波は穏やかで、心地よく響くフェリーの微動に心身の疲れを癒されながら、私は敦賀港から秋田港に向かう新日本海フェリーの中で、昨日までの奉仕で与えられた恵みを思い起こしていました。



9日(木)朝、家内を伴い愛車で横手を出発し、金沢で1泊し、次の10日(金)夕方、米子復活教会(T牧師)に無事到着しました。T先生は満面の笑みで迎えてくださり、宿泊先のこと、明日からのことなど打ち合わせ、祈りを合わせました。

続いてこの2日間の奉仕を振り返りました。11日(土)は教会の中で小中高生と「自然に秘められた数学」を、午前と午後に分けて学びました。数学的な遊びを交えながら、身近な自然の中にいろいろな数学が隠されていることを楽しみました。夜は一般の方を対象に「グランドキャニオンとノアの大洪水」というテーマで講演させていただきました。12日(日)の午前は米子復活教会で「野の花を見よ～自然に秘められた不思議な数学～」というテーマで説教させていただき、夜は鳥取市に移動し鳥取復活教会で、同じテーマで講演させていただきました。

受けた恵みがたくさん浮かんできました。まず参加者の皆さんが、驚きうなずきながら聞いてくださったことです。大きな励ましであり感謝なことでした。また、5名の小中高生が参加してくれたことです。年齢幅が大きく、工夫はしたつもりですが、小学生にはちょっと難しかったかもしれません。でも、最後まで学びに加わってくれました。今、子供のいない教会が増えています。それだけに5名の小中高生は教会の宝です。進化論に害されないよう、聖書の創造論の素晴らしさを子供たちに味わう機会をさらに提供したいと思いました。特に嬉しかったことは、11日の夜と12日の夜の講演に日本キリスト教団の牧師が一人ずつ出席され、2人とも聖書的な創造信仰を証しされたことでした。教団のなかに進化論の問題性に気づく牧師がさらに起こされるよう祈りました。

今、このような奉仕の旅とその恵みを思う時、祈りつつ送り出してくれた横手教会の長老会と教会員の皆様に、また、説教奉仕をして下さったN牧師に心からの感謝を申し上げます。有り難うございました。この恵みと湧き上がる感謝を力にして、さらに横手教会に、主の諸教会に仕えていきたいと思えます。続けてお祈り下さい。